



# 沓掛小学校だより

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

5月号

NO. 578

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

## 春は「新しい自分」になるとき

副校長 榎本 純子

新しい学年・学級での学校生活が始まり約1か月がたち、風薫る若葉の季節となりました。休み時間には黄色い帽子をかぶった1年生が、校庭で元気に遊ぶ姿も見られるようになり、春のあたたかな日差しと共に、子供たちのエネルギーが学校中に満ちあふれています。

この時期に強く感じることは、それは子供たちの成長の大きさや変身ぶりです。1年生のお世話をするために、6年生が朝早くから登校し「1年生になつかれちゃって困っています。」と嬉しそうにしている姿は、すっかり立派な最上級生です。1年生を迎える会では、舞台に座っている1年生の様子を見た3年生が「先生、1年生って本当にかわいいね。」とニコニコしながら話しかけてくれました。つい先日まで自分も低学年だったのに、その表情はもう一人前のお兄さんです。1年生初めての給食の日、「牛乳は苦手だから少ししか飲めないかも。」と不安そうに話していた女の子が、3日後には「先生、今日は牛乳全部飲めたよ。」と教えてくれました。子供たちは、新学期を迎えたことで自然に気持ちを切り替え、新たな目標に向かって「できるようになりたい。頑張ろう。」という気持ちを強くもっているのです。

新たな目標や意欲をはっきりと意識するために、どの学級にも個人のめあてカードや学級目標が掲示されています。私が担任をしていたときには、いつも「学習」と「生活」の2項目のめあてを学級の子供たちに書かせていたのですが、本校のめあてカードにはもう一つ「ともだち」という項目を設けている学級が多くあります。「いろいろ

な人に自分から話しかけて友達になる。」「クラスの全員と仲良くなりたい。」など、友達を大切にしたいという言葉が数多く並んでいます。どの子も落ち着いて授業に向かい確かな学力を身に付けていくためにも、友達との良好な人間関係は不可欠です。子供たちの「たくさんの友達と仲良くなりたい。」という願いをかなえるために、どの学級でも、子供たちが温かで穏やかな関わりを築けるような目配り、心配りをしていかなければと思います。

この「友達との関わり」について、ここ数年気になっていることが一つあります。それは、友達に対するイメージをなかなか変えられない子が増えているのではないかということです。「あの子は、幼稚園のときから勝手なことをしていたよ。」「前に意地悪されたことがあるから好きになれない。」など、過去の関係をひきずっている場面に出会うことがあります。もちろんそれは事実なのでしょうが、相手の悪いことばかり気にしていると、良い点が見えなくなってしまうでしょう。新学期になりどの子も前向きな気持ちになっているこの時期だからこそ、見方を変えて、友達の「変身」に気付こうとすることが大切なのではないでしょうか。そして私たち大人が、そういう新たな見方を子供たちに教えることが必要だと考えます。

間もなくゴールデンウィークです。ぜひそれぞれの御家庭でお子さんとゆっくり過ごす時間を持ち、この1か月のお子さんの成長や変身を見付けてあげてください。